

【 診療科:消化器外科 】

【 レジメン登録番号:SG-38(変更) 】

〈 ベバシズマブBS+XELOX療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)									
			1	2	3	4		14	15		28	
ベバシズマブBS	5mg/kg	div	○							○		
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○							○		
ゼローダ	BSA≤1.2m ² 2,400mg/day, BSA>1.2m ² 3,000mg/day	p.o.	タ			←継続投与→					朝	

【1コース期間: 28 日】

【総コース数: 5～6コース および 効果があればPDとなるまで】

【適応癌種: 術後転移再発StageⅣおよびStageⅣ切除不能・進行 結腸・直腸癌 】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	YDソリタT3 200mL	div(50mL/h)
Rp.2	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(全開)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	ベバシズマブBS 5mg/kg	div
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	オキサリプラチン 85mg/m ²	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	

※初回90分、2回目は60分でも可。
3回目以降は30分でも可。

【参考文献: Phase I/Ⅱ Study of Capecitabine Plus Oxaliplatin(XELOX) Plus Bevacizumab As First-line Therapy in Japanese Patients with Metastatic Colorectal Cancer ～Japanese journal of clinical oncology 】

【備考①: UFT/Uzel+CPT-11による補助化学療法後の術後転移/再発StageⅣ
およびstageⅣ切除不能・進行再発結腸・直腸癌に対して実施する。】

【備考②: ゼローダ投与はday1夕食後～day15朝食後】

【変法情報:】